



1 明科中文化祭『明中祭』 明北小・明南小6学年参観 9月26日(金)



明科中では、『第50回明中祭』が、9月26日(金)・27日(土)に開催されました。明北小・明南小の6年生は、初日を参観しました。高らかに開会が宣言され開幕です。オープニングでは、校長・生徒会長・実行委員長の挨拶の後、ポスター及びステージバックの表彰、モニュメント披露、生徒会企画と続きました。ユーモアもあり、見応えのある演出に、小学生も見入っていました。予想を超えた驚きがあったようです。



次に、学年ごとの「総合の時間学習発表」です。1学年「高遠キャンプ」、2学年「職場訪問」、3学年「広島・奈良・京都修学旅行、広島平和記念式典参加報告、地域探究」の発表でした。1学年の発表からは、様々なできごとから得た、仲間との絆の大切さを感じました。2学年は、4つのグループに分かれ、参観者がそれぞれの場に動いて発表を聞きました。6年生も知っている明科の事業所が多く、小学生も興味深く聞いていました。3学年は、中学生一人一人が持参したタブレットの、ホワイトボードアプリを使って、参加型の学びを試みました。中学生と一緒にトライしている小学生の姿がありました。



小学生は、展示会場で作品を自由に見て回った後、吹奏楽部の発表を鑑賞しました。小学校にはない楽器もあり、きれいな音色や迫力に聴き入っていました。さすが中学生という、憧れに繋がる素晴らしい演奏でした。

2 明北小・明南小6学年 『明南小体育館にて交流』

9月26日(金)



明科中文化祭で総合的な学習の発表を見た後、展示見学開始までの時間、明北小・明南小の6年生は、明南小体育館にて交流会を行いました。鬼遊びとドッジボールを楽しみました。半年後には、明科中の1年生として、共に生活する子どもたちです。将来、どんな『明中祭』を一緒に創っていくのか、とても楽しみです。

3 明中祭参観・交流会の感想から（小学生）

オープニングがすごいボリュームで笑ったし盛り上がり、オープニングだけで明中祭が終わったような気分になるくらい凄かった。クラスの紹介で、急に顔がアップになったり、途中から人が増えたり、色々なパターンがあって面白かった。ステージの裏で動いている人たちの真剣な様子も自分の心に響いたのかなと思った。

生徒会企画やクラスの映像が、とてもユーモアあふれていて面白かったから、中学3年生になったら、僕もああいう映像を創りたい。吹奏楽部は、金管と比べるとやっぱり楽器も多くなっているし、迫力も満点ですごいなと思った。

学年ごとの作品を見た。絵がどの学年も上手だった。中1が、私たちが小5で行った高遠に行っていたことに驚いた。3年生が修学旅行で、2泊3日で法隆寺などに行ったと分かった。吹奏楽では金管より楽器が増えていて迫力があつた。その分、音の重なりが増えた。楽器ごとソロパートがあって、一つ一つの音が聞けた。フルートがきれいな音だった。ドラムもすごかった。一つの楽器に、3、4人くらいしかいないのに、一人一人音がたくさん出ている、小さい音もできていた。たくさんの曲を吹いていてすごかった。

2年生の発表で、自分はCを選んだけど、何を選んでも面白かったし勉強になったと思う。クイズは、難しいのが多くて楽しめた。

ドッジボールは外野になったときに、明南の人と会話ができたから良かった。遊び中心だったから、あまり話せてないけど、少しでも話すことができて良かった。

いろいろな人の作品を見てきたけど、小学校とは違う考え方をされていて、自分が伝えたいことがすごく伝わるような作品だった。

久しぶりに、中学2年生の人に会って、めちゃくちゃ背が高くなっていたり、声が変わっていたりして、すごかったです。